

都内主要繁華街における 滞留人口モニタリング

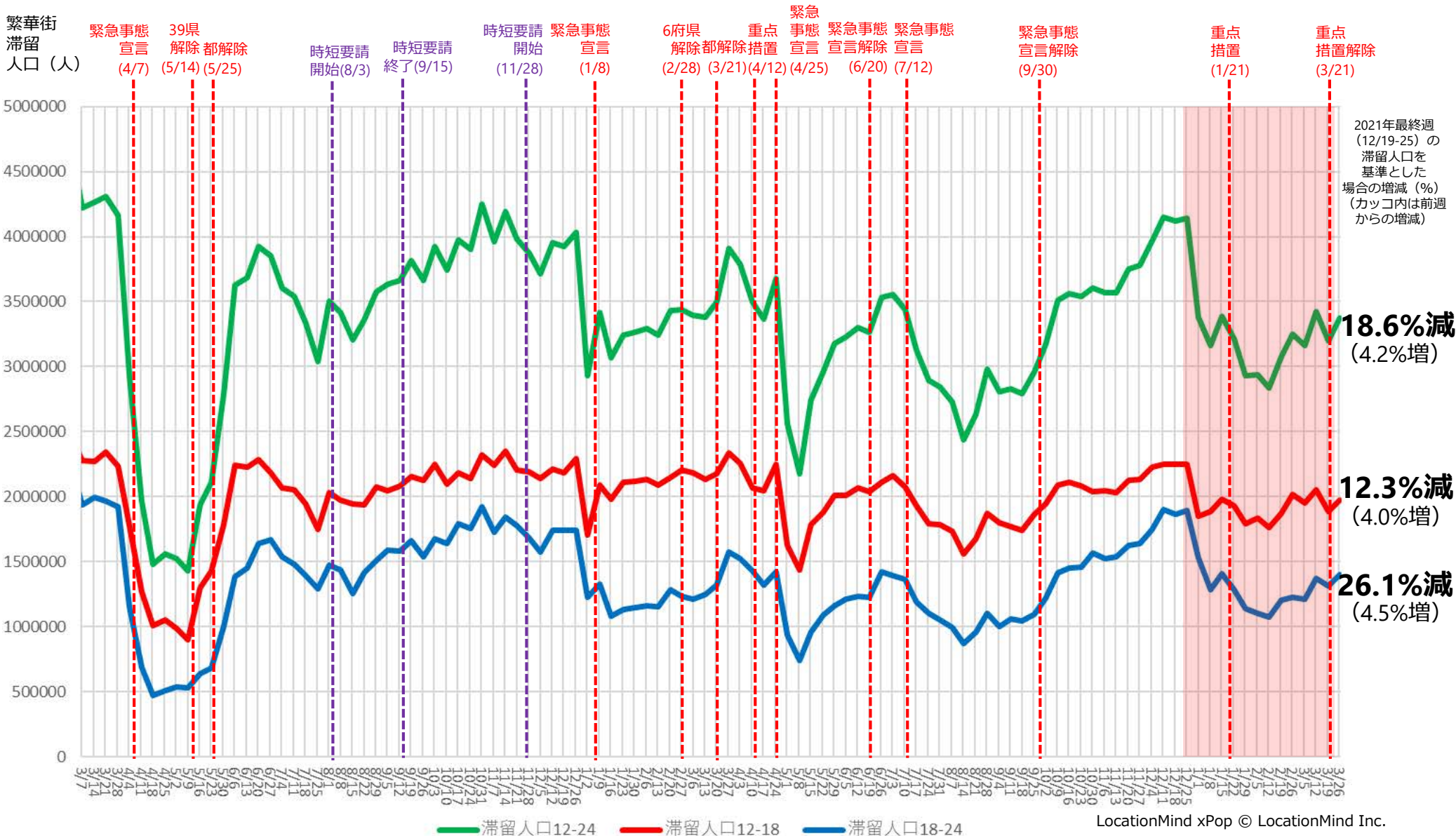
東京都医学総合研究所
社会健康医学研究センター
西田 淳志

都内主要繁華街 滞留人口モニタリング

<要点>

- レジャー目的の夜間滞留人口は、解除後1週目では小幅な増加にとどまるも（前週比：4.5%増）、解除後2週目（今週）に入って急激に増加しはじめており、今後の感染状況への影響が懸念される。
- 感染力の強いBA.2への置き換わりが急速に進む中で、深夜までの長時間・大人数での会食などハイリスクな行動をできる限り控え、リバウンドを防いでいくことが重要。

時間帯別主要繁華街滞留人口の推移（2020年3月1日～2022年3月26日）

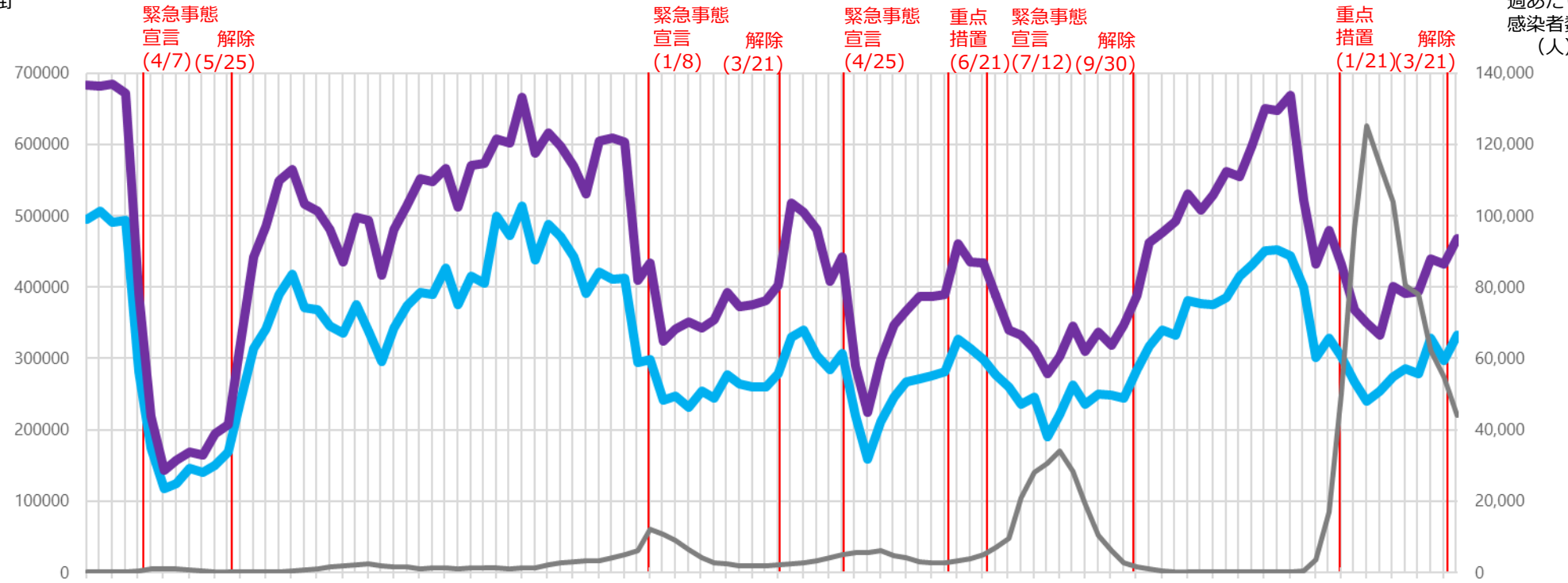


主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数：東京（2020年3月1日～2022年3月26日）

重点措置
1/21-3/21

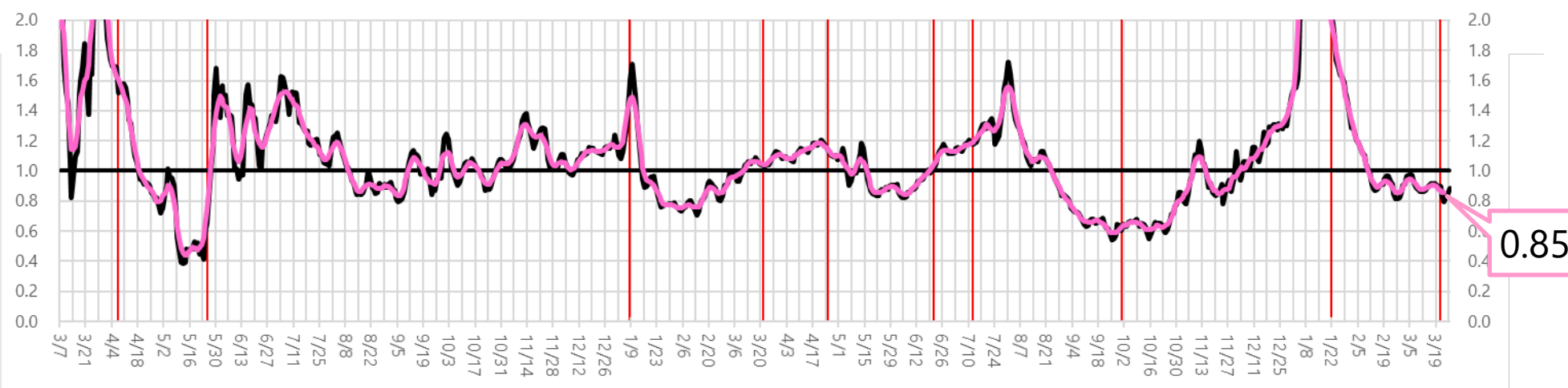
繁華街
夜間
滞留
人口
(人)

滞留人口22-24時 滞留人口20-22時 新規感染者数（報告日） 日別 7日移動平均



週あたり
感染者数
(人)

実効再生産数



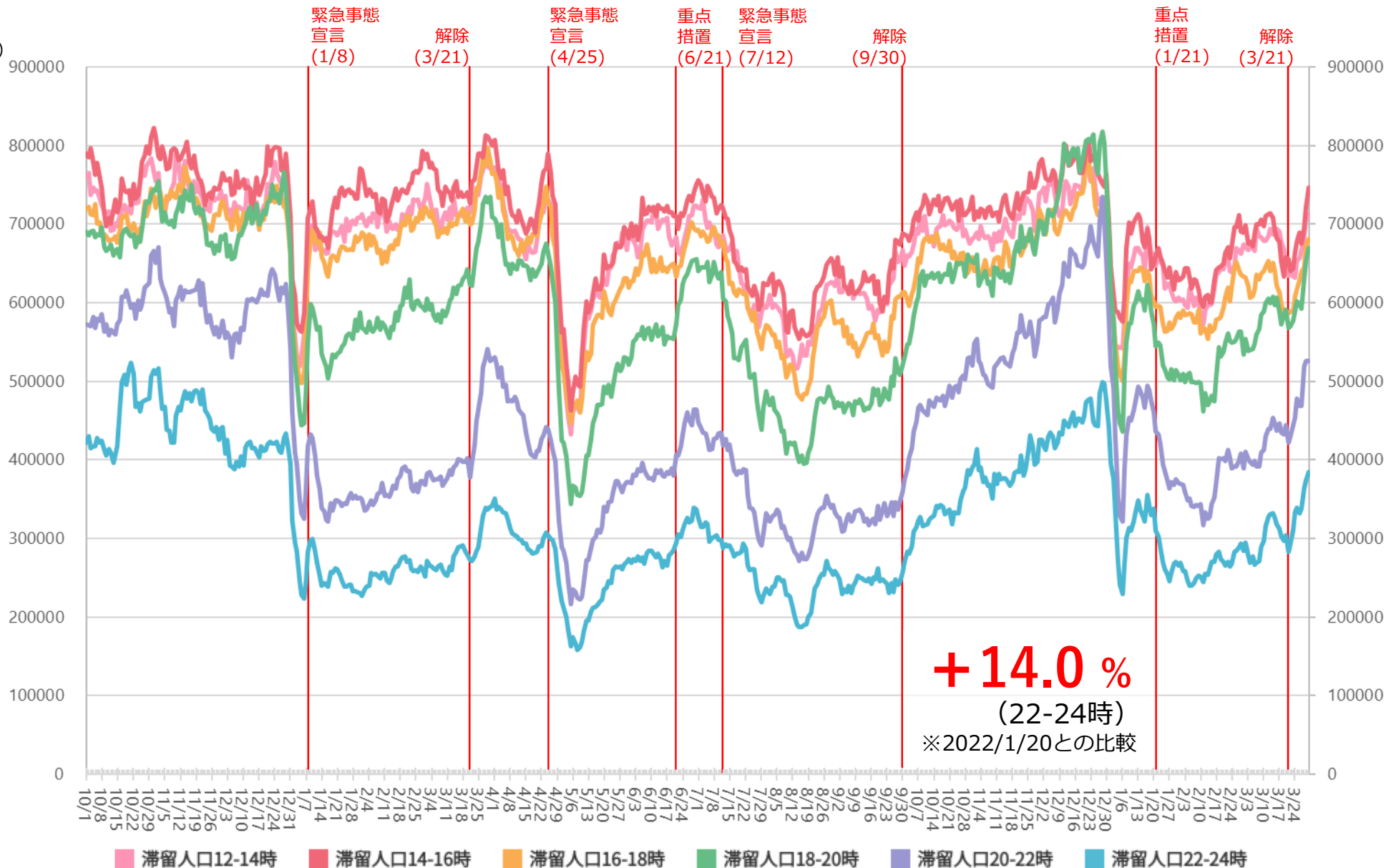
0.85

※対象繁華街は歌舞伎町・銀座コリドー街・渋谷センター街・上野仲町通り・新宿二丁目・池袋・六本木

時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：東京（2020年10月1日～2022年3月30日）

重点措置
1/21-3/21

繁華街
滞留
人口
(人)

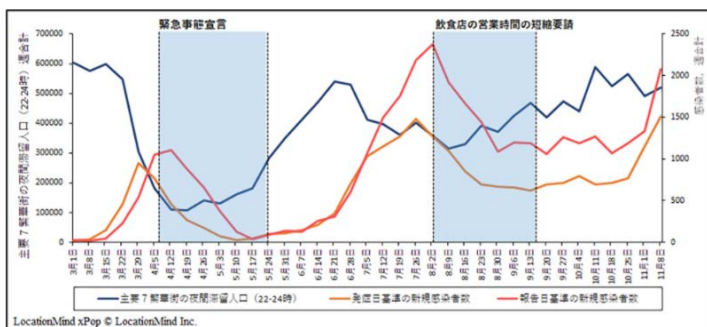


※対象繁華街は歌舞伎町・銀座コリドー街・渋谷センター街・上野仲町通り・新宿二丁目・池袋・六本木

LocationMind xPop © LocationMind Inc.

ハイリスクな滞留人口と感染状況との関連

- GPSの移動パターンから**主要繁華街(ハイリスクな場所)にレジャー目的(ハイリスクな目的)で滞留したデータを抽出**※
- **夜間帯(ハイリスクな時間帯)の滞留人口量を1時間単位で推定**
- **繁華街夜間滞留人口データとその後の新規感染者数、実効再生産数との関連が確認されている**※※



※GPS移動パターンから職場と自宅の場所を推定した後、職場・自宅以外の15分以上の滞留をレジャー目的としてカウント

LocationMind xPopのデータは、NTTドコモが提供するアプリケーションサービス「ドコモ地図ナビ」のオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータを使用。位置情報は最短5分ごとに測位されるGPSデータ(緯度経度情報)であり、個人を特定する情報は含まれない。

※※ Nakanishi M, Shibasaki R, Yamasaki S, Miyazawa S, Usami S, Nishiura H, Nishida A. On-site Dining in Tokyo During the COVID-19 Pandemic: Time Series Analysis Using Mobile Phone Location Data. *JMIR mHealth and uHealth*, 2021